



気管支炎って?

アレルギーや細菌・ウイルス感染により
気管支に炎症が起こる病気。

細菌・ウイルス感染や植物やタバコの煙などのアレルギーが原因で、気管支に炎症が起こります。初期は軽い咳をすることが多いのですが、進行すると腹式呼吸や食欲・活動量の低下が生じて呼吸困難に至り、命を落とすこともあります。

主な 症状

- 咳をする
- 呼吸の回数が多くなる
- 呼吸をするときに胸から
ヒューヒュー・ゼーゼーと音がする など

気管支炎では、咳が主な症状として見られます。咳は、嘔吐時の動作に似ているため、吐き気を催しているのではないかと飼い主さんが間違えることがあります。咳のほかに発熱や呼吸が荒くなる症状がみられることもあります。また、気管支炎の波及により肺炎などが起こることがあり、その場合呼吸がさらに荒くなり食欲低下などの症状がみられます。



原因

ウイルスや細菌による感染や、それらの混合感染によって引き起こされる場合が多くみられます。

特にネコヘルペスウイルスによって起こるネコ伝染性鼻気管炎や、ネコカリシウイルスによって引き起こされるネコカリシウイルス感染症が、気管支炎のもっとも多い原因となります。特に空気が乾燥している冬場に流行が見られます。この他、細菌や真菌等も気管支炎の原因となることがあります。また、刺激性の煙やガス、化学薬品などの吸い込み、異物の飲み込みなどが原因となり気管支炎が生じることもあります。「猫伝染性鼻気管炎」や「ネコカリシウイルス感染症」などはワクチン接種で防ぐことが可能です。獣医師の指示にしたがって、定期的なワクチン接種を行いましょう。

治療法 と検査

治療法は、気管支炎を起こすに至った原因により異なりますが、感染症などが原因の場合は抗生物質、抗真菌剤の投与などを行います。また、症状にあわせて補液やネブライザー（蒸気吸入器）を使った吸入療法を行なうこともあります。

猫にはなるべく静かで暖かい部屋で安静にさせてあげる必要があります。また、慢性気管支炎が猫喘息を患っている可能性がある場合の検査は、全身麻酔をかけたうえで、CT検査と気管支の中を観察する気管支鏡検査などを行うのが基本です。この専門的な検査は、大学病院などで行います。



CT検査は、X線を使って体の断面を撮影。気管支鏡検査は、細長い内視鏡を使って咽喉から気管支までを確認します。

雑誌「ねこのきもち」では、健康情報や困りごとなど飼い主さんの「知りたい!」を解決! ●こちらは、掲載した記事を再編集したものです。

アニコム損保ご契約者が
マイページから定期購読を申込みと

2号 (2ヶ月分) **無料!!**

